

Luncheon Linguistics, 10/06/2026

2026（令和8）年6月10日

「学会報告 第41回 Finno-Ugric Students' Conference (IFUSCO XLI)」

発表者：小林真緒（東京外国語大学博士前期課程）

本発表では第41回 International Finno-Ugric Students' Conference (以下、IFUSCO XLI) への参加報告として、開催概要およびワークショップでの発表を共有した。

IFUSCO はウラルの言語や民族に関する諸分野を対象とした学生向けの学会であり、今年はヘルシンキ大学にて2026年5月11日～15日の5日間開催された。

報告では IFUSCO および IFUSCO XLI の概要について紹介したのち、以下2つの発表紹介を行った。

1. Erkkilä, Riku: The study of semantics of spatial cases of the Uralic languages: What, why, and how?
2. Blanter, Kesja: When the fox caught the hundredth squirrel: The origin of Ingrian secondary gemination